


第268回都市懇サ ロン レポート	「令和4年度 都市計画実務発表会 受賞業務について」		
講師	発表者：(株)オオバ 東京支店 まちづくり計画部 計画設計課 係長 遠藤 大輔さん  (株)オオバ 名古屋支店 まちづくり計画部 計画設計課 緒方 景子さん	開催日	令和5年3月7(火)  18:00~20:00
講師 プロフィール	遠藤 大輔さん 2013年(株)オオバ入社。主に都市計画マスタープラン、立地適正化計画、無電柱化推進計画等の計画策定業務や地域のまちづくり支援業務等に従事。  緒方 景子さん 2019年に(株)オオバ入社以降、主に都市計画マスタープラン、緑の基本計画、立地適正化計画等の計画策定業務や地域のまちづくり協議会支援業務等に従事。		
お話の概要	講師：遠藤さん ○都市計画マスタープランにおける取組方策は、「都市構造」および「土地利用計画」における都市の拡大の示唆である。みらい平地区は、利便性の高く安全な市街地が形成されている。その周辺地域は市街化調整区域であるが、災害リスクの高い市街地からの移転の受け皿として拡大を期待し、「市街地の拡大を検討」する地域として提案。 ○立地適正化計画における取組方策は、「居住誘導区域の指定」と「防災指針」における、将来の緩やかな移転促進の示唆である。谷井田地区は、市街化区域だが交通利便性が低く、かつ全域が浸水想定区域。法に基づかない区域「一般居住区域」への位置づけにより、緩やかな移転促進を示唆することを提案。 講師：緒方さん ○配置分合を繰り返してきた集落の成り立ちを踏まえ、非線引き都市計画区域の白地地域に誘導区域を設定。大井川水害へ対応するため、災害危険性を踏まえた誘導区域の設定と防災指針を作成。 ○大井川の両岸に地域の拠点を設けることで災害リスクの分散化を図り、都市の防災力の強化に寄与。		
意見交換 の概要	○市の担当者と調整する上で苦労したことなどありましたか。 →緒方：誘導地域の場所の選定に難航した。都市計画と担当者の利害の一致を取るのに苦労した →遠藤：つくばみらい市では担当者と方向性は一致していた。町内調整・地元との調整が一番苦労した。 ○計画の策定後に動きはありましたか。 →遠藤：まだ動きはない →興味深い提案なので今後のフォローを含め注目したい。 →緒方：特に動きはない。農業振興地域除外の動きを進めていきたい		
記録者の ひとこと	「新たな都市づくりに向けた取り組み」をテーマに、2つの異なる立地適正化計画策定の実務発表であったが、どちらも非常に積極的なアプローチであり大変興味深かった。意見交換でも声があったが、今後の動向が非常に気になる事例である。  ≪都市懇サロン運営部会 委員 関口貴則≫		